

南箕輪村国民健康保険 第3期保健事業実施計画(データヘルス計画) <概要版>

本編

1 計画の目的 P1

特定健診やレセプト等のデータの分析から得た健康・医療情報を活用することで効果的な保健事業を実施し、被保険者の健康の保持増進を図ることにより、健康寿命の延伸、医療費の適正化を目指します。

計画年度 P6

令和6年度
～令和11年度

2 第2期(H30～R4)の考察 P11

医療費の状況 P13 1人当たり医療費 H30 298,772円 → R4 336,460円 (増)

中長期目標疾患(脳血管疾患、心疾患、腎不全(人工透析)) P14

脳疾患、虚血性心疾患の医療費は減少しています。慢性腎不全(人工透析有り)の治療者と医療費は増加しています。

短期的目標疾患(高血圧、糖尿病、脂質異常症) P15

高血圧から合併症として人工透析になる方が増加しています。健診受診後、未治療の方が多くいます。

脂質異常症は、他の自治体等と比べて医療費が多くかかっています。

健診結果からみるデータ P17

メタボリックシンドローム該当者は増加しています。

脂質異常症該当者も増加しています。次年度に継続受診されない方が多く、改善結果が把握できません。

健診受診率 P22 対象者の半数しか受診していません。特に40代と70代の受診が少ないです。

3 第3期(R6～R11)の課題 P26

糖尿病・脂質異常症の医療費が高いので、これらの発症予防、重症化予防が必要です。

後期高齢者の脳血管疾患、心疾患の医療費が高いため、これらの原因である高血圧についても早めの対策が必要です。

特定健診未受診者の医療費は受診者に比べて5倍もかかっているため、まずは特定健診を受診し、

若いうちから自らの健康状態を知り、生活習慣を見直すことが重要です。

目標 P32

中長期的な目標 中長期疾患が医療費に占める割合を維持します。糖尿病性腎症による新規透析導入者を0にします。

短期的な目標 高血圧、糖尿病、脂質異常症、メタボリックシンドロームの該当者割合を減らします。

特定健診 受診率60%

4 課題解決のため実施する保健事業 P42

①重症化予防事業(糖尿病性腎症・肥満・メタボリックシンドローム・虚血性心疾患・脳血管疾患)

健診の数値で対象となった方へ保健指導を行います。

②高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

国保、後期高齢、介護のデータを一体的に分析し対象者へ支援を行います。

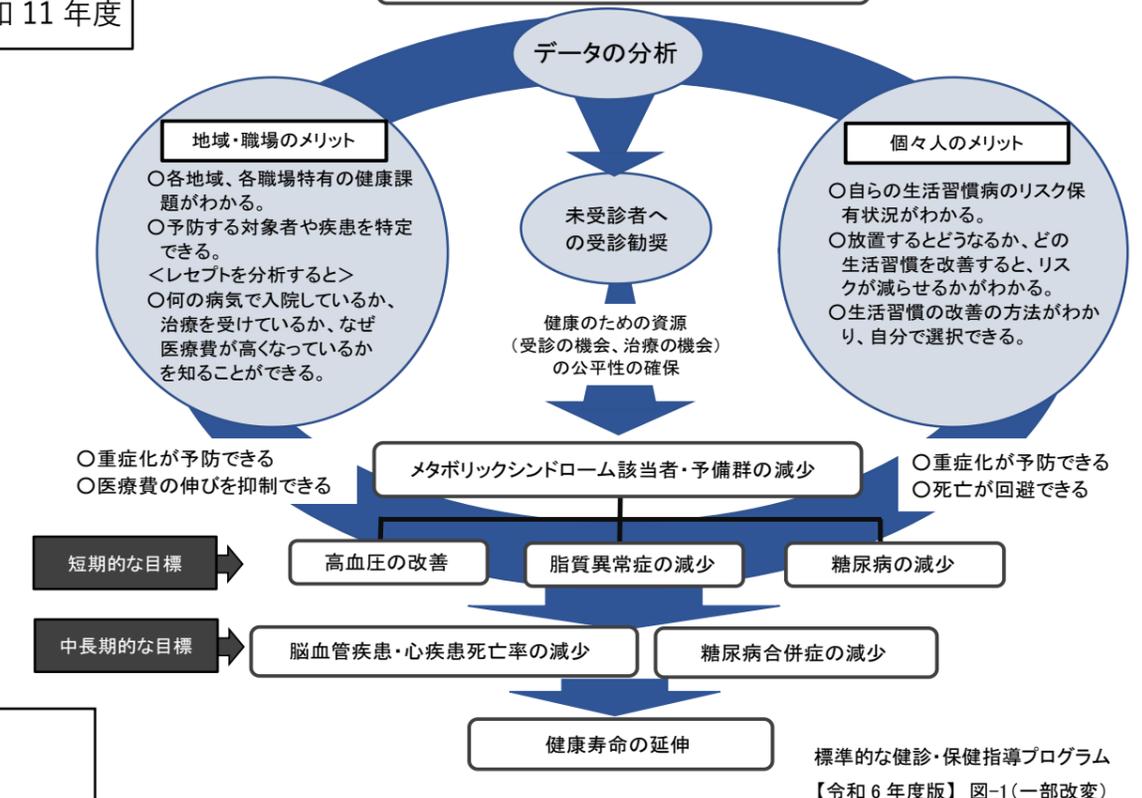
③発症予防 小児期から肥満予防を行います。

④ポピュレーションアプローチ 健康教室などにより、広く村民に生活習慣病について周知していきます。

P4

特定健診・特定保健指導と国民健康づくり運動
～特定健診・特定保健指導のメリットを活かし、国民健康づくり運動を着実に推進～

特定健診・保健指導の実施率の向上



人生は一度きり。健康が一番の財産です。
健康診断を受け、生活習慣を見直して、
健康な人生を送りましょう！

